

NACS-J 自然観察指導員講習会

山口 正明 (船橋市)

開催日：2014年9月27日（土）～28日（日）

場 所：千葉県立手賀の丘少年自然の家（柏市）

開 催：＜主催＞日本自然保護協会 ＜後援＞千葉県自然観察指導員協議会、
千葉県立手賀の丘少年自然の家、東邦大学

参加者： 受講生 66名、講師・スタッフ 18名

（NACS-J 3名、手賀の丘 2名、東邦大学 1名、協議会 13名）

講習会のプログラム：

9月27日（土）	9月28日（日）
野外実習①森を通して自然の仕組みを観る	早朝オプション観察会
講義①生物多様性の保全と私たちのくらし	野外実習②自然観察会のテーマ探し
自己紹介・自然観察ちばの紹介など	野外実習③自然観察会の企画
講義②自然観察会と指導員の役割	野外実習④実際に自然観察会を開く
情報交換会	閉講式

以前は2泊3日でしたが、働く世代や学生の指導員を増やそうという趣旨で昨年度から1泊2日に短縮される中、日数が減っても極力中身を維持しようということで、早朝から深夜までスケジュールがぎっしりの講習会でした。

参加者は、住居別では千葉県在住者が72.7%（48人）、男女比では、男性が74.2%、女性が25.8%。講義や野外実習は、NACS-J講師が主体となって実施され、野外実習では協議会の佐野由輝さんも講師を務められました。協議会13名はアシスタントとして、野外実習時の補助、早朝オプション観察会のガイド、書籍販売・給茶手配・情報交換会手配を含む運営事務全般を担当しました。

NACS-J講師による講義や野外実習を通じて、私たち自身も初心に帰ることができたように感じます。指導員として心得るべきこととして、「コミュニケーションを大切にして、教え込むのではなく、引出すこと」、「下見の時にはあったものが本番でなくなっている場合には、今見られるものを大事にし、また今ここにあることの意味を考える」などの指摘は、今後の大いに参考になります。

一同、結構ヘトヘトになりましたが、参加者が皆満足そうに会場を後にされたことで、私たちも豊かな気持ちになることができました。協議会には16名の方が新規加入、内、東葛しぜん観察会には11名が入会され、新しい仲間が増えました。

